

これまでのとりくみ(P・D)

全国学力・学習状況調査の結果より(C)

これからのかたち(A)

【学校教育目標】

自らの生き方を創る子どもの育成 ～一人ひとりの個性を生かす教育の推進～

【めざす子ども像】

○よく考え進んで学ぶ子ども ○最後までやりぬく子ども ○仲よく助け合う子ども

○学習規律の徹底をめざして、「佐野台小学校学習の五か条」を定めている

- ・月ごとに重点目標をかかげている

○基礎基本の学力の定着をめざして、

- ・佐野台タイム（4～6年）の実施
- ・自主学習（家スタ）を実施し、家スタコンテストも開催
- ・読書タイム（週2回、2時間目と3時間目の間に15分）
- ・自分の考えや思いを書くための日記を実施

【教科の結果より】

- ・選択問題における無解答率は低いが、記述問題では無解答率が高くなる
- ・情報が多くなると、読み取れず正答率が下がる
- ・国語：「読むこと」について、目的に応じて必要な情報を見付けることに課題がある
- ・算数：計算など機械的な操作はできている。「データの活用」に課題がある
- ・理科：実験の学習については定着できている。生物に関する部分は定着が薄い

【児童質問より】

※数値は肯定的回数率

質問内容	本校の回答率	全国の回答率
国語の勉強は好きですか	75.8	58.3
算数の勉強は好きですか	62.0	57.9
理科の勉強は好きですか	82.8	80.1
ICTを活用して、情報を整理することができますか	13.8	26.9

○基本的に勉強することは好き。 ICTの活用については、不安がある。

【学習について】

- ・朝学習の時間を活用して、詩の音読に取り組む
- ・文章の要点をつかむ活動（キーワードに印をつける・文章を要約する）に取り組む
- ・授業のふりかえりや日記などで自分の意見を書く活動を充実させる
- ・「家スタコンテスト」を続けることで学習意欲を高め、自主学習を推進する
- ・佐野台タイムで、基礎読解や計算、漢字などに取り組む
- ・調べ学習やスライド作りなどでICTを活用する機会を増やす
- ・社会科や総合的な学習で、データ活用の機会を増やしデータの活用能力を育成する

【生活において】

- ・マイノートを活用することで、1日の計画を立てたりふりかえりをしたりすることで、自分のことを「見える化」できるようにする
- ・読書タイムや読書通帳を活用して、読書の推進をする